



# やすらぎ加賀通信

ブログ更新中 見てね!

第114号 2017/3/14

「今年は暖冬」と毎年聞きますが、「北極の氷山に大きな割れ目が入って漂流するかもしれない」というニュースがありました。数万年単位で見れば、気候や大陸は大きく変動しますが何となく気になりますね。

先日、南極越冬隊に参加した方のお話を聞く機会があり、「昭和基地は北海道の内陸の都市より暖かいよ」との感想に、ちょっと驚きでした。そうなんだ！南極は氷のような寒い所との先入観がありました。子ども達と接する時も同じですね。先入観なく素直な心で接したいものです。一年間おつきあいありがとうございました。

|    | 来室相談 | 訪問相談 | 電話相談 | 合計 | 通室生徒 |
|----|------|------|------|----|------|
| 2月 | 6    | 6    | 6    | 18 | 0    |
| 3月 | 2    | 0    | 1    | 3  | 0    |

※春休み 3/25(土)～4/7(金)

ただし通室生のみです。 **相談はOKです。**

3月は3月10日現在データです。

来年度4月最初の土田カウンセラー来室相談日は4月21日(金) 9:30～11:30です。

## 相談員 お礼

あっという間の4年間でした。ひきこもり・不登校問題については、数値としてあがってくるデータに多いなあと感じていました。直接子ども達に関わると、一人ひとりが別の悩みの中にもがいている姿が見えてきました。何処かで誰かにつながっている事がとても大切と感じました。

諸先輩が積み上げてきた支援のあり方を学ぶにつれ、自分は何が出来たのかと反省する日々です。それでも心がふれあったなあと思えることもありました。そんなときはとても嬉しく幸せな気持ちになることが出来ました。

悩める子ども達も、元気な子ども達も未来は同じように広がっています。自分の人生を見据えてそれぞれが歩いて行くことを期待します。 **マイペースでいいのです！**

ご指導ご支援いただいた皆様本当にありがとうございました。

【やすらぎ加賀教室相談員 西 和純】

## アッキーの つぶやき

【やすらぎ加賀教室スーパーバイザー 土田晶子】



### 出会いをありがとう

今年も春がやってきました。出会った生徒さん達が、目覚ましい成長を遂げ、それぞれの道へ旅立つ時です。念願だった道もあるでしょう。不本意だった道もあるでしょう。しかし、有頂天になることも落ち込むこともないのですよ。あなたの強みは、あなたの中に必ずあるのです。これから先苦しい時は、あなたの長所を思い出して発揮してください。きっとあなたの踏ん張る力になるでしょう。

素晴らしい出会いをありがとう。

＝感謝＝



快晴に誘われて鞍掛山に登ってみました。加賀平野が一望でき、ランドタワーがあるので、やすらぎ加賀教室のあたりもバッチリです。

ここから眺めると、人間の活動が実に小さく見えます。気分転換に子ども達と登ってみるのもいいね。近い将来、新幹線もみえるのですね。

株分けして増やしたお花が色々咲いてくれましたが、雪の上にデンドロを置くと、とてもきれいな色彩があらわれました。



## 加賀フレンドシップ反省

2月20日（月）、今年度の活動を振り返って反省会を行いました。

平成17年度より、金沢大学原田准教授のお世話で、のべ66名もの学生がこの事業に参加してくれ、大きな成果を上げています。

原田先生からは、「学生の学びの場であります。出会いがあって、子ども達と教員にとってプラス方向に作用すれば良いと思います。」とのお言葉をいただきました。

今年度のそれぞれの感想を載せて御礼に代えさせていただきます。

【A さん】

教育現場では役割分担することが効果的であることを学びました。

自分は男なので、女子生徒とのコミュニケーションが不安でしたが、同僚の女子学生の会話を参考に

したところ会話が弾んできました。翌週、子ども達が私の名前を呼んでくれ交流が出来たことを実感しました。

【B さん】

体育や季節のイベントのお手伝い等、体験活動を一緒に行うことが主な活動でした。子ども達はおとな

しく見え、仲良くなるのには時間がかかるかもと感じましたが、直ぐに話しかけられ、不登校の子ども達に

対しての先入観は間違っていたことに気づきました。

【C さん】



題  
と

話が楽しめなくなっていました。その時の場合や状況を良く考慮しることが重要と感じました。将来この活動で得られた多くの知見を活かし

【D さん】

